

桑折町が舞台

「物置のピアノ」世界へ

来月 豪の日本映画祭で上映



シドニーで上映される映画「物置のピアノ」の一場面©2014「物置のピアノ」製作委員会

県人会長が橋渡し

桑折町を舞台にした映画「物置のピアノ」が十二月二十日、オーストラリア・シドニーの日本映画祭で上映される。同国のパース県人会長を務めるストックトン市市長が、東日本大震災と

東京電力福島第一原発事故後の県内の現状を描いた内容に感銘を受け、主催者に掛け合い実現した。関係者は「風評被害を受けている本県の正しい情報が海外で広がってほしい」と願っている。



ストックトン市市長 重光 重明さん

重光市長は八月、福島市で開かれた在外県人会サミットに出席した。席上、県が本県ゆかりの文化作品紹介のため上映した「物置のピアノ」の予告編を見て映画の魅力を知った。

帰国後、本編を鑑賞し「福島の美しい風景、おいしい果物、優しい人柄がきれいに取り込まれている。オーストラリアで紹介したい」と思い立った。オーストラリア南西部のパース

※「映画『物置のピアノ』桑折町応援団」の団長を務める高橋宣博町長は「地震、津波、原発事故、風評と県内で起きたことが全て盛り込まれている映画。オーストラリアの多くの人に見ていただき、桑折の美しい風景を見てほしい」と期待している。

ス市で、学校教員の助手を務めている。「原発事故により福島は人の住めない場所になった」という誤った情報が現地で流れ、心を痛めていたという。

重光市長は、世界最大規模の日本映画祭「ジャパン・フィルム・フェスティバル」での上映を目指した。主催者である日本の独立行政法人「国際交流基金」の現地代表者に

「ジャパン・フィルム・フェスティバル」では、いわき市の旧湯長谷藩を舞台にした「超高速ノ参勤交代」と川内村やいわき市、富岡町で撮影

された「家路」も上映される。「超高速ノ参勤交代」は、旧湯長谷藩が通常八日かかる江戸への参勤を五日で行うよう幕府に命じられ、藩主と

重光市長は「オーストラリア国民に福島について正しく理解してほしい。上映をきっかけに、福島の方にオーストラリアへ興味を持ってもらえれば新たな絆が生まれる」と訴えている。

映画の世界進出が決まり、関係者は喜びをかみしめている。プロデューサーの橋内裕人さん(シドニー出身)は「当初から夢見ていた世界への発信が実現した。福島の人材が住むパース市での一般公開に向け準備を進めている」と話す。

藩主が知恵を絞る挑む物語。地方の武士が意地を見せる姿は、原発事故の風評など逆境に負けず前に進む県民の姿に重なる。福島民報社が製作委員会に加わ

った。「家路」は原発事故後の本県を舞台に家族が再生する姿を描いた。世界三大映画祭の「ベルリン国際映画祭」に出品された。

「超高速ノ参勤交代」「家路」も

出品された。

「物置のピアノ」豪で発信

映画祭で来月上映

震災後の支援に感謝

東日本大震災後の桑折町で製作された映画「物置のピアノ」(似内千晶監督)が11月、オーストラリア最大の日本映画祭「ジャパニーズ・フィルム・フェスティバル」で上映される。16日、同映画のプロデューサー橘内裕人さん(福島市)が明らかにした。

後の同町を舞台に高校3年生の主人公の決断と家族の思い風評被害に揺れる果樹農家の現状を描いた。撮影には地元を挙げ協力した。在外県人会サミット出席のため8月に来日したオーストラリアパース福島県人会のストックトン亜紀子会長(福島市出身)が、同作品を知り、映画祭での上映を働き掛け実現した。

橘内さんは「初めから世界への発信を目指していた映画で、その一歩が踏み出せた。震災後に受けた支援に対するお礼として、多くの人に見てほしい」と話している。

同映画祭は10～11月下旬にオーストラリア各地で開催される。メイン会場のシドニー市では名作から最新の話題作まで45作品以上が紹介される。同作品は11月20日、シドニー会場で上映される予定。



映画「物置のピアノ」の一場面(©2014年「物置のピアノ」製作委員会)